

ヒヤリハット体験

タイトル	急勾配の崖を下りるとき、転落（右手首を打撲）	
部門	活動内容	
	団合同の隊集会	
発生日	発生時間	発生場所
12月29日		団野営場
ヒヤリハット体験の概要		
<p>・ ビーバー、カブ隊は門松づくり</p> <p>・ ボーイ隊は、竹を使った正月飾りを恒例で作っている</p> <p>正月飾り用に、枝ぶりの良い松のある場所を知っている指導者が、その場所に向かった。</p> <p>急勾配の崖の途中に（高さ3m）良い枝を張り出している松があり、指導者は、剪定ハサミを手に持ち草のかぶに足をかけ松の木まで崖を登った。</p> <p>枝ぶりの良い枝を剪定し、崖の下に落とし、作業が終わり、身体の前面を崖側に向けたため、向きを変えようと草かぶに足をかけたとき、バランスをくずし、3m下まで転がり落ちた。</p> <p>剪定ハサミを右手親指にかけた状態で転がり落ちたが、手首・親指の打撲だけで事なきを得た。</p>		

【追記】

- ・ 恒例行事で、指導者は周辺のどこに何があるかよく知っていた。
- ・ 毎年、指導者は一人で松の剪定に行き、隊集会に間に合わせていた。
- ・ 落ちた年は、場所を団委員に教えるため、数人で行った。
- ・ 崖を登ったのは、落ちた指導者一人だった。

備考欄

ヒヤリハット体験

タイトル	ペットボトルロケットが、見学の児童に当たる	
部門	活動内容	
指導者	親子ふれあい教室のペットボトルロケット作りの指導	
発生日	発生時間	発生場所
	学校の休み時間	小学校のグラウンド
ヒヤリハット体験の概要		
<p>小学校6年生のクラスで、親子ふれあい教室で「ペットボトルロケット作りの依頼」があり、指導者1名、団委員2名で参加した。</p> <p>ペットボトルロケットが完成し、ロケットを順番に飛ばし始めたとき、休憩時間となり、生徒が2階のベランダに鈴なり、1階では、生徒がグラウンドに飛び出してきた。そのとき、飛ばしたペットボトルロケットが、低い状態でカーブして飛び、飛び出してきた生徒の腹部付近にあたった。</p> <p>即、生徒の状況確認を行い、ケガもなく ことなきを得た。</p> <p>ペットボトルロケットの中心線がずれており、曲がって飛んでしまった。</p>		
備考欄		

ヒヤリハット体験

タイトル	ペットボトルロケットが飛びすぎ	
部門	活動内容	
指導者	親子ふれあい教室のペットボトルロケット作りの指導	
発生日	発生時間	発生場所
	親子ふれあい教室	小学校のグラウンド
ヒヤリハット体験の概要		
<p>小学校6年生のクラスで、親子ふれあい教室で「ペットボトルロケット作りの依頼」があり、指導者1名、団委員2名で参加した。</p> <p>ペットボトルロケットが完成し、グラウンド（W50m×L100m）で飛ばすことになり、飛距離を考え、グラウンドの対角線で飛ばすことにした。</p> <p>何人かが飛ばした後の1人が発射したところ、対角線上のバックネットを超え、学校の隣の2階建てのアパートの屋根を越して飛び、アパートの駐車場に落下した。</p> <p>原因は、ペットボトルの板の厚さが厚く、対圧力に耐えたためと考えられる。</p>		
備考欄		